



使用説明書

Panthera X

この度はパンテラXをご購入頂きありがとうございます。  
パンテラは、毎日の軽快な操作を考え、快適にしかも人間工学的に良い姿勢で座れるように設計された車椅子です。車に積んだり降ろしたりが容易にできます。この製品にご満足いただき、快適にお乗り頂けることを願っております。快適にお乗り頂くために必ずこの使用説明書をお読み下さい。

## 目次

使用目的 .....	2
安全にお使いいただくために .....	3-4
商品概観 .....	5
調整 .....	6-8
移乗 .....	9
メンテナンス .....	10
商品サイズ .....	11

ANTHERA TECHNOLOGY

## 安全にお使いいただくために

注文した車椅子に間違いがないか、以下の点をご確認下さい。

- ・車椅子の幅:座席の外寸  
座幅は 33.36.39.42.45 のいずれかです。
- ・バックレストの高さ:バックレストパイプの高さ  
注文されたバックレストの寸法より 0.5cm 短くなっています。高さ 30cm を注文した場合、パイプの長さは 29.5cm です。
- ・部品  
注文した部品が揃っていること。

車椅子の使用にあたり、以下の点に問題がないかご確認下さい。

- ・クイックリリースアクセルの軸受への脱着が容易である。
  - ・車輪装着時、クイックリリースアクセルのボタンがきちんと戻っている。  
※ボタンを押した状態で固定されていると、脱輪の危険があります。
  - ・4つの車輪すべてが接地している。
  - ・キャスターフォークが滑らかに回転する。
  - ・バックレストが容易に折りたためる。
- 以下の点で問題がありましたら、車椅子をご使用になる前に販売店にご連絡下さい。

### 車椅子のバランスと転倒について

- ・バックレストの取付け位置と角度、バックレストシートの調整は、キャスターアップに作用する最も重要な要因です。調整後、安全な適合がされているか、車椅子のバランスを確認して下さい。もし不安だと感じましたら、バックレスト取付け位置を前に調整して下さい。
- ・その他の転倒につながる恐れのある要因  
バックレストにバックをかける時、バックレストに寄りかかったり、後方へ背伸びをする時、消耗したタイヤ、十分な空気が入っていないタイヤでの走行時、傾斜面の走行時、路面の突然の変化。

十分にご注意下さい。

## 注意!!

パンテーラの車椅子は可能な限り楽に操作できるように開発されています。軽い力で操作でき、自分の意図するままにきびきびと軽快に動いてくれます。しかし、軽快に動くという特性は、誤った操作をすれば転倒する危険もございます。車椅子は転倒する可能性を有するものであり、ご使用になられるすべての状況に警告をだすことは到底できません。安全にお使い頂く上で最も大切なことは、パンテーラを試していただきながら、操作テクニックを磨いて頂くことです。

もし車椅子の操作テクニックについて疑問、質問等ございましたらご購入頂いた販売店、もしくはパンテーラ・ジャパン(株)までお気軽にお問い合わせ下さい。

### ブレーキ

- ・消耗したタイヤ、十分に空気の入っていないタイヤは、ブレーキがかかり難いので、ご注意ください。
- ・タイヤの交換時には毎回、ブレーキがきちんとかかるか確認して下さい。
- ・ブレーキは停車時に使用するもので、走行中に使用するものではありません。

## 座位について

- ・誤った座位姿勢は傷害を助長します。不安がある場合は、すぐに販売店またはシーティングに詳しい理学療法士、作業療法士へご相談下さい。
- ・サイドガードが大腿部を強く圧迫していないか確認して下さい。強く圧迫しているときは、座幅が狭すぎる可能性があります。このことも傷害の原因になります。
- ・シートはクッションを使用するように設計されています。

## 走行について

- ・フットレストの最下部と地表の距離が 40mm 以下の場合、フットレストが地表の隆起に衝突し、体が前に投げ出される可能性がございます。ご注意ください。

## 移乗/持ち上げ《図 9 参照》

- ・パンテラは軽量のため、ブレーキをかけた状態でも横方向から移乗する際、車椅子が横へずれる可能性があります。ご注意ください。
- ・ユーザーが座っている際に車椅子を持ち上げる場合には、必ずフレームを持ち上げてください。
- ・バックレストやハンドリム、駆動輪などフレーム以外の部分を持って持ち上げるのは絶対におやめください。

## カーボンファイバー

カーボンファイバーそのものは有害ですが、X のフレームのように結束されているものは無害です。しかし、きちんと安全な装備をせずにドリルやのこぎりなどで加工すると、カーボンファイバーの粒子がまみ、健康に害を及ぼします。したがってフレームの加工を禁止させていただきます。健康上の危険とフレームの強度を著しく損なう恐れがあるためです。



図 9: 持ち上げる箇所

## 商品概観

1. バックレスト
2. バックレストフレーム
3. ホイール、タイヤ
4. 座面クッション
5. ブレーキ取り付け位置
6. フレーム
7. キャスターフォーク
8. フットレスト
9. キャスターホイール
10. カーフバンド
11. ハンドリム
12. ブレーキ取り付け位置
13. クイックリリース、ハブ
14. バックレスト接続部分



## 調整

ユーザーの皆様合った座位姿勢、負担のない駆動を提供させていただくために、正しい順序に従って調整していただくことが必要です。まず始めに、快適な座位姿勢に合わせ車椅子を調整し、その後、最も操作しやすい位置へ重心位置を調整します。

この手順は重要です。座位姿勢を再度調整したときは、それに合わせて車軸位置も調整してください。調整し適合させることで、長く快適にご使用いただけます。

次の順序（1－6）に従って調整を行ってください。

- 1) 座面シートの張り
- 2) フットレストの高さ
- 3) カーフバンド張り
- 4) バックレストの角度
- 5) バックレストシートの張り
- 6) 重心位置（バランス）

### 1) 座面シートの張り《図1参照》

シートの後方は、座面下ベルトを調整することで、緩めたり締めたり調整していただけます。これにより、アンカーサポート部を約2cmの範囲で調整可能です。

### 2) フットレストの高さ《図2参照》

フットレストは上下に高さを調整していただけます。まずフレーム正面の2つのボルトを、3mmの六角レンチで回してはずしてください。

フットレストの穴を、適切な高さになるように合わせ設定してください。足裏がステップ上におさまっている時、座面（クッション）と大腿部の間に適度な圧がかかるように調整してください。



図1：座面シート



図2：フットレスト

### 3) カーフバンドの張り《図3参照》

バンドの張りにより、フットレスト上での足の前後位置を調整していただけます。バンドを緩めて適切な位置へ足がおさまるように調整してください。

### 4) バックレストの角度《図4参照》

バックレストの角度を調整していただけます。まずロックナット(1)を17mmのスパナで緩めて、4mmの六角レンチで調整ボルト(2)を適切な角度に調整してください。

調整ボルト(2)を反時計回りに回すとバックレストは前に傾き、時計回りに回すと後ろに傾きます。

バックレストパイプが反らないよう、左右の調整ボルトを均等に調整することが重要です。調整後、バックレストを起こし、左右の調整ボルトがフレームにきちんと触れているかご確認ください。適切な角度が決まりましたら、ロックナット(1)を締めてください。



図3：レッグベルト



図4：バックレスト

## 5) バックレストシートの張り《図 5 参照》

バックレストシート裏のベルト(1)を締めたり緩めたりすることで、張り調整をしていただけます。またバックレストシート下方には、座面シートと連結するための奥行調整テープ(2)が付いています。これらの調整をしていただくことで、快適な姿勢をつくります。

まず奥行調整テープ(2)を前後調整していただき、適切にバックレストシート下方の奥行を設定します。次にベルトを十分に緩め、シートの奥深くに座ってください。そして、しっかりと骨盤、脊椎が支えられるようにベルトを締めてください。もしシートの奥深くにゆったりと座れていないと感じましたら、奥行調整テープ(2)の前後調整がきつく設定されている可能性があります。奥行調整テープ(2)を緩めて、バックレストシートを後方にずらしてください。

## 6) 重心位置 (バランス) 《図 6 参照》

パンテラ X は車軸位置が決まっています。重心位置の設定で車椅子のバランスを調整していただけます。4段階のバックレスト取付け位置(1,2,3,4)により、重心位置を設定します。5mmの六角レンチでバックレスト取付け位置を調整して下さい。後ろに設定していただく程、重心が後方へ移動します。その場合、車椅子のバランスが前方より、駆動輪により多くの重さがかかります。したがって、駆動が楽になり、段差や縁石を乗り越えるのが容易になります。ただし、後方バランスが過ぎると、転倒する危険が生じますので注意が必要です。



図 5 : バックレストシート



図 6 : バックレスト取付け位置



## 移乗

車椅子を車載する際、お体への負担を少なく、また容易に積み込んでいただくことを目的としています。

駆動輪を取り外し、バックレストを折りたたんで積み込みしていただけます。

《図 7 参照》

- 1) サイドガードを外す
- 2) クッションを外す
- 3) バックレストを折りたたむ
- 4) クイックリリースアクセルのボタン(1)を押しながら駆動輪を取り外す。

《図 8 参照》

駆動輪の取り付けは、クイックリリースアクセルのボタン(1)を押しながら、クイックリリースアクセルを軸受けに挿入します。クイックリリースアクセルをきちんと奥まで挿入し、ボタン(1)を放します。安全に駆動輪が装着されているか、駆動輪を引っ張り確認してください。

またボタン(1)が元に戻るか確認してください。



図 7：フレーム



図 8：クイックリリースアクセル

## メンテナンス

パンテーラの車椅子は、ほぼメンテナンスがいらないように作られています。しかし、定期的な点検していただきたい箇所がございます。

※砂や海水等の影響を受けるような環境で使用する場合は、最低でも月に1度はメンテナンスを行ってください。

### 毎月行うこと

- ・フレームをカーシャンプーまたは食器洗い洗剤および濡った布で汚れなどを拭き取ってください。

汚れがひどいときは、脱脂剤（ベンジン）などを使用してください。

掃除後は潤滑油（CRC5-56、グリースなど）を可動部分全てに注油してください。

※ベアリングにはCRC5-56を使用しないでください。ベアリング内の油を溶かしてしまい、動きを阻害します。

- ・キャスター輪とキャスターフォークを掃除してください。

髪の毛やほこりがたまりやすく、ベアリングに支障をきたす可能性があります。

2本の5mmの六角レンチでキャスター輪を外し、ワッシャーとキャスター輪のベアリング部を布で拭き取ってください。

ベアリング部にグリースを注油し、組み立ててください。

- ・クイックリリースアクセルと軸受を掃除してください。

髪の毛やほこりがたまってしまうと、駆動輪の取り外しができなくなる可能性があります。

駆動輪を取り外し、クイックリリースアクセルシャフトと軸受を布で拭き取り、潤滑油を注油してください。

もし雨、砂地、ぬかるみの中でご使用になられる場合、また駆動輪を取り外すことが少ない場合は、頻繁に行ってください。

- ・タイヤに空気を入れてください。

自転車用空気入れで入れていただけます。パンテーラの車輪は米式バルブになります。

※一部仏式（一般的な自転車用空気入れは、米式と英式のアダプターが備わっています）

自動車のバルブも米式なので、ガソリンスタンドでも空気を入れていただけます。

- ・全てのボルトとナットがしっかりと締まっているか確認してください。

その他、異常な箇所がないか確認してください。もし損傷などにお気づきの際は、直ちに販売店にご連絡ください。

### 半年に1度行うこと

- ・ブレーキの接合部に潤滑油を注油してください。
- ・バックレスト取付け部に潤滑油を注油してください。
- ・座面シート、バックレストシート、クッションカバーの汚れが気になる場合には、ぬるま湯（40℃くらいまで）で洗ってください。

### 保証期間と耐用年数

パンテーラの耐用年数は、使用頻度とメンテナンスの状態によります。

保証期間：車体（シャーシフレーム）については5年間。その他の部分は1年。ただしタイヤ等の消耗品は除きます。

耐荷重：100kg

## Technical facts

### Panthera X

Seat width (cm)	33	36	39	42	45
-----------------	----	----	----	----	----

#### Total

Total width	53.5	56.5	59.5	62.5	65.5
Total length	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5
Total height	69	69	69	69	69

#### Seat

Seat angle	7°	7°	7°	7°	7°
Seat height rear	43	43	43	43	43
Seat height front	47	47	47	47	47
Seat depth	35-46	35-46	35-46	35-46	35-46

#### Back

Back angle rear-front	7.3-11.5°	7.3-11.5°	7.3-11.5°	7.3-11.5°	7.3-11.5°
-----------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

#### Transport

Width	40	43	46	49	52
Length	74	74	74	74	74
Height	38.5	38.5	38.5	38.5	38.5

#### Weight

Total(g)	4200	4200	4200	4200	4200
Transport	2100	2100	2100	2100	2100
Userweight	100	100	100	100	100
Air pressur tires(bar)	8	8	8	8	8

パンテラ・ジャパン株式会社

〒311-4164

茨城県水戸市谷津町細田 1-8

TEL:029-257-2522 FAX:029-257-2348

URL <http://www.panthera-japan.jp>

e-mail [info@panthera.jp](mailto:info@panthera.jp)

THERA TECHNOLOGY